

河川情報の提供

水害・土砂災害情報統合ポータルサイトの開設 ～情報の一元化～

○ これまで、情報発信者がそれぞれ提供していた情報を一目で確認できるよう、ポータルサイトにおいて、「気象情報」、「水害・土砂災害情報」等を一元的に集約して提供しています。

- ①インターネットで「川の防災情報」を検索してください。
もしくは、右の二次元コードを読み取り、インターネットに接続して下さい。
- ②専用サイト「川の防災情報」にアクセスし、「中国」をクリックしてください。



国土交通省 川の防災情報

“気象”×“水害・土砂災害”情報マルチモータ

水位雨量 カメラレーダ 河川の予報

全国 北海道 東北 関東 北陸 中部 近畿 **中国** 四国 九州 沖縄

雨の降っている地域 (XRAIN) 20:50

気象警報・注意報 20:50

河川カメラ(→地域のカメラ) 20:50

川の水位情報 20:50

関連サイト

- 国土交通省 川の防災情報 全国概要
- 国土交通省 川の防災情報 スマホ版
- 国土交通省 川の防災情報 English TRIAL VERSION
- 国土交通省 水害リスクライン (危険度の上下流連続表示)

洪水の危険性が高まっている河川

観測所名	水系名	河川名	水位 (m)	観測時刻
倉敷敷川	本明川	倉敷敷川	1.33	20:40

洪水予報の発表地域 20:50

洪水予報操作を実施しているダムがある地域 20:50

洪水警報の危険度分布 20:50

土砂災害危険度分布 20:50

水害リスクライン

水害リスクラインのページへはこちらをクリック

避難情報 準備中

被害情報 準備中

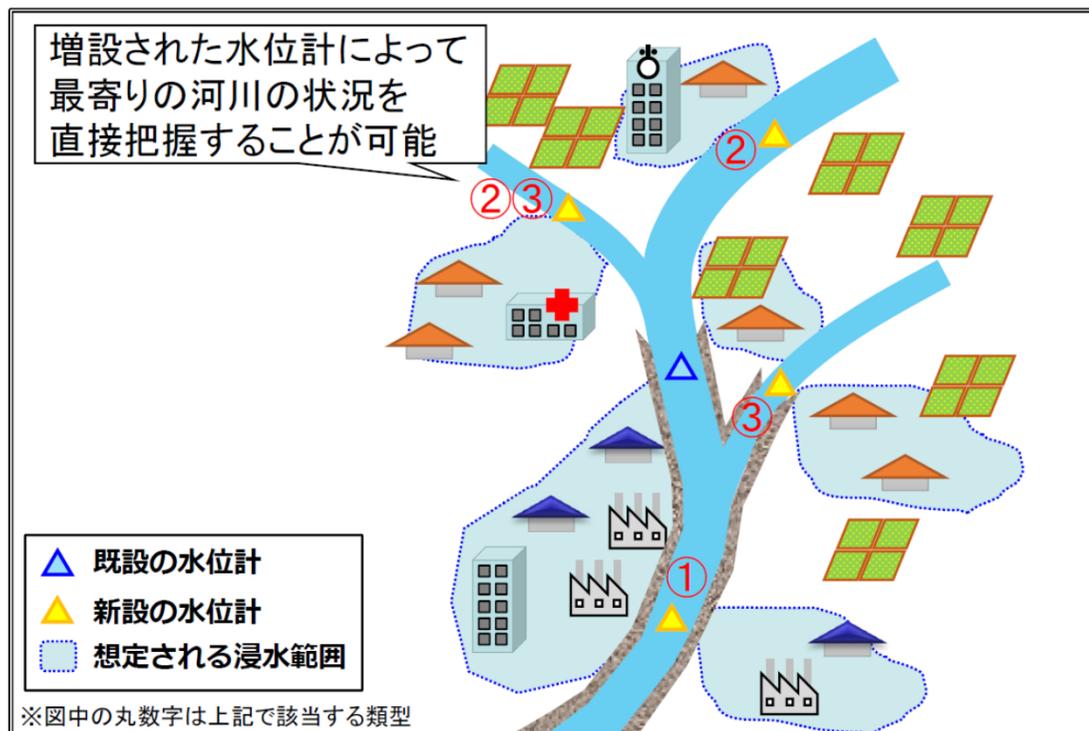
リンク集

- 雨雲の動き (高解像度降水ナウキャスト)
- ハザードマップ ポータルサイト
- 土砂災害警戒情報
- 地点別浸水シミュレーション検索システム (浸水ナビ)
- 交通規制・道路気象
- 統合災害情報システム (DIMAPS)
- 防災情報提供センター
- 防災ポータル

※「気象警報・注意報」「洪水警報の危険度分布」「土砂災害危険度分布」は気象庁ホームページへリンクしています。
 ※「川の水位情報」は危機管理型水位計運用協議会が運用するホームページへリンクしています。
 ※掲載の情報には、無人観測所から送られてくるデータを観測後直ちに表示しているものが含まれており、機器故障等による異常値がそのまま表示されている可能性があります。他の水位情報、気象情報も併せて確認してください。

危機管理型水位計 ～低コストの水位計で水位観測網を充実～

- 危機管理型水位計は洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計で、**これまで水位計の無かった河川や地先レベルでのきめ細やかな水位把握が可能**となりました。
- 危機管理型水位計は、
 - ①「堤防高さや川幅などから、**相対的に氾濫が発生しやすい箇所**」
 - ②「氾濫により行政施設・病院等の重要施設が浸水する可能性が高い箇所」
 - ③「支川合流部など、既設水位計だけでは実際の水位が捉えにくい箇所」などを対象として、既設水位計の配置や現地状況等を踏まえて配置箇所を選定しています。
- 危機管理型水位計は平成30年度末までに**管内河川で401台を整備済み**です。

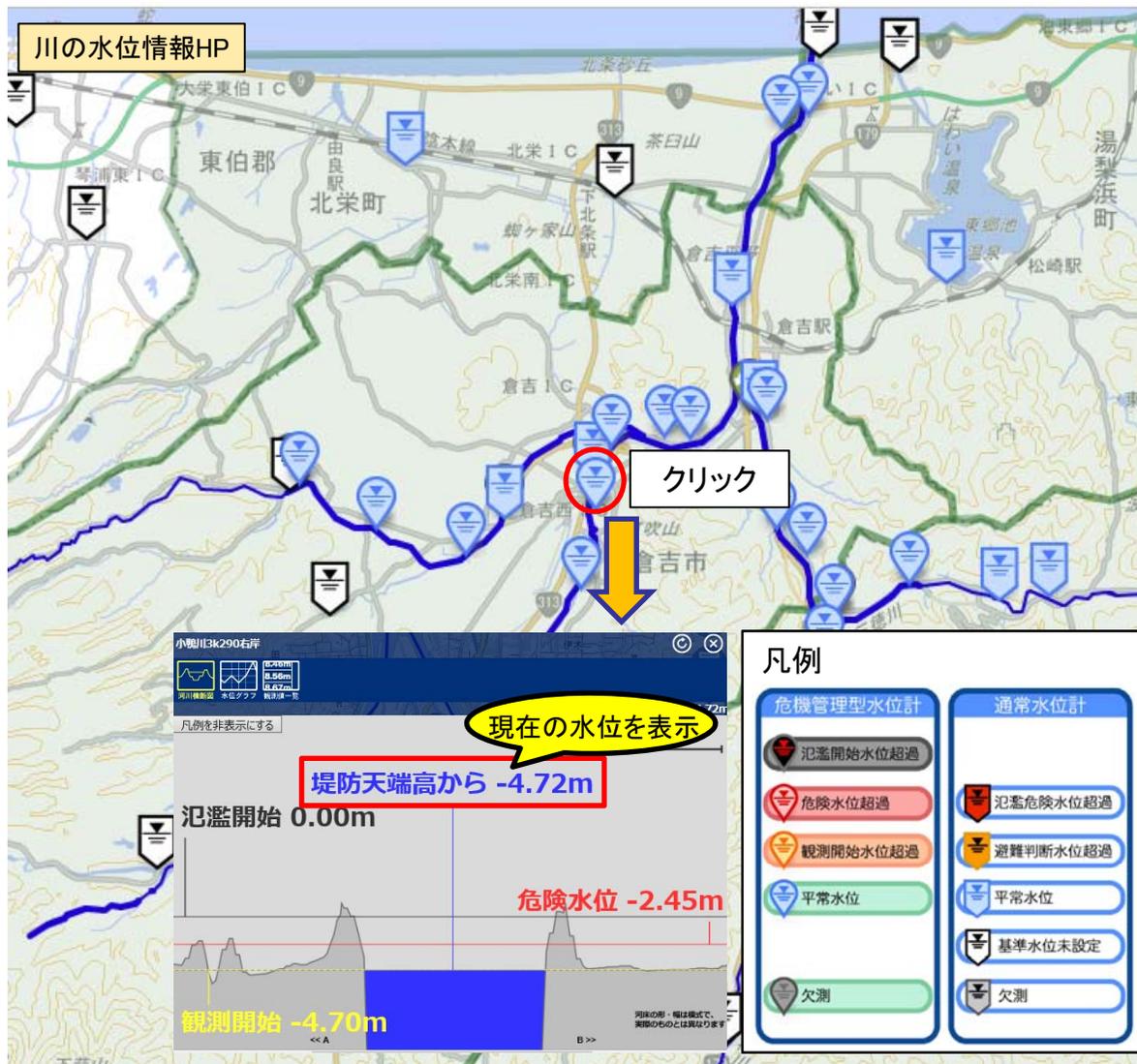


■危機管理型水位計の設置例



危機管理型水位計 ～低コストの水位計で水位観測網を充実～

- 天神川では、2018年(平成30年)度に20箇所設置。
- 危機管理型水位計は、「川の水位情報(<http://k.river.go.jp>)」で、堤防天端高と水位の差を確認可能。



簡易型河川監視カメラ

- 従来の水位情報に加え、リアリティのある洪水状況を画像として住民と共有し、地域の方の避難に活用していただくために、2019年（令和元年）度に簡易型河川監視カメラを14箇所に設置。
- 簡易型河川監視カメラの映像は、危機管理型水位計と同様に「川の水位情報」で確認。

○簡易型河川監視カメラ

【目的】

令和2年2月より、身近な河川の状況をリアリティをもって伝え、地域の方の避難に活用していただくため、「簡易型河川監視カメラ」を天神川水系の国管理区間に14箇所整備している。

【観測の状況】

河川の状況をカメラで配信（10分間隔）

【情報提供サイト】※危機管理型水位計と同じ

「川の水位情報」

<http://k.river.go.jp/>



- 簡易型河川監視カメラ(14基)
- 危機管理型水位計 (20基)



「川の水位情報」の表示例

①危機管理型水位計に加え、既存の通常水位計や河川カメラも同じ画面に表示されます。

②リアルタイムの河川水位に対応して表示の色が変化し、危険度がわかります。

③現況水位が堤防天端に対してどこまで追っているかわかります。④これまでの水位変化が確認できます。



■ 危機管理型水位計



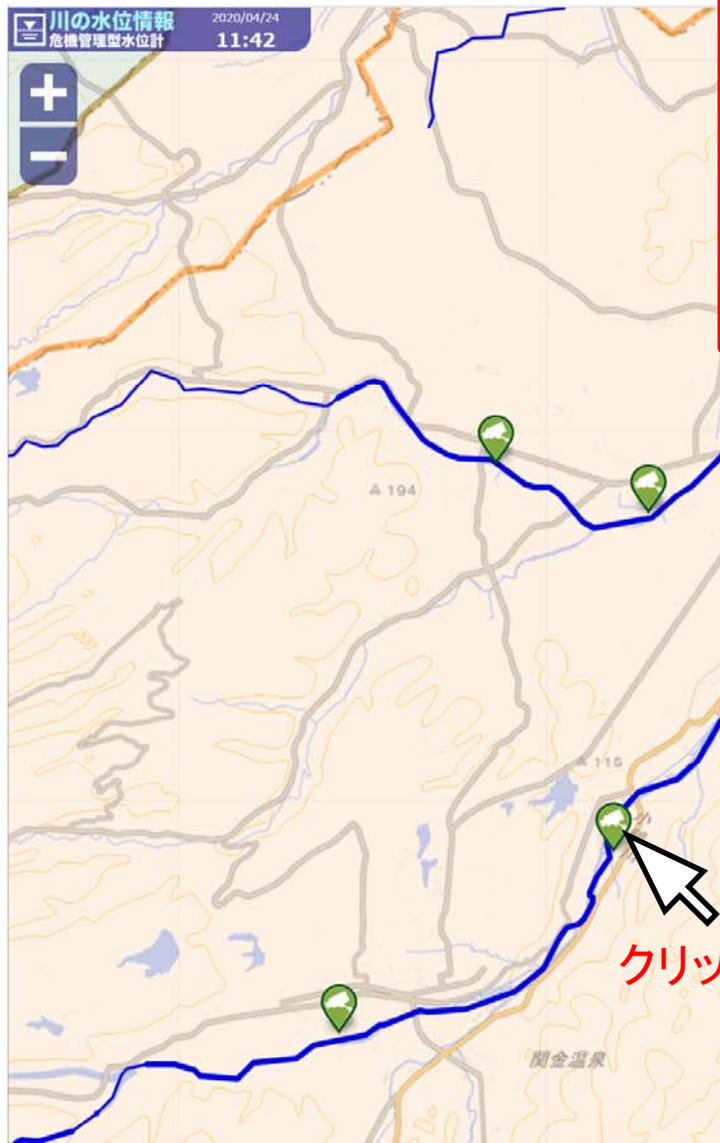
■ 簡易型河川監視カメラ

川の水位情報
二次元コード

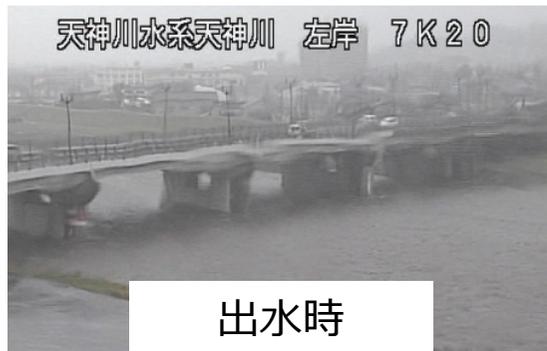
簡易型河川監視カメラ

「川の水位情報」

<http://k.river.go.jp/>



出水時と平常時の比較ができます



出水時

平常時

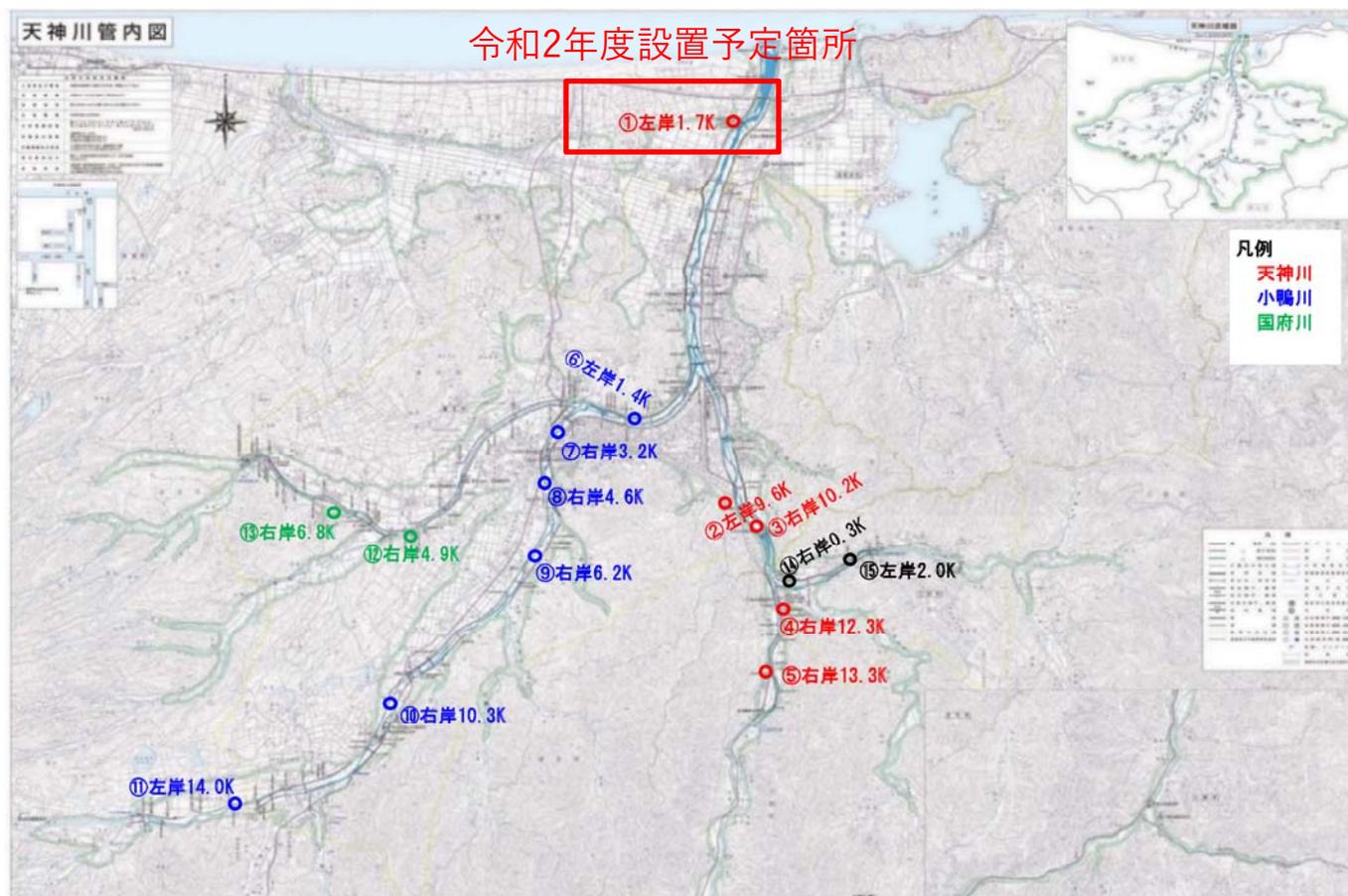
出水時と平常時の比較イメージ



簡易型河川監視カメラ

- 天神川水系において、令和元年度に14台を設置していますが、令和2年度でさらに1台設置予定。
- 設置個所：天神川左岸1.7k付近に設置予定。

簡易型河川監視カメラ設置個所位置図



簡易カメラ設置位置



カメラアングルイメージ

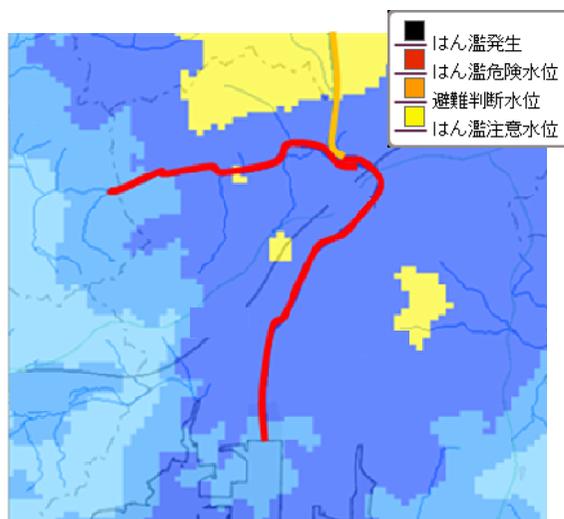
水害リスクライン ～洪水危険度の見える化～

- 令和元年9月11日より、**災害の切迫感を分かりやすく伝える取組み**の一つとして、上流から下流まで連続的に洪水の危険度が分かる「水害リスクライン」による水位情報の提供を開始しました。
- 「水害リスクライン」は、**概ね200m毎の水位の計算結果**と堤防高との比較により、左右岸別に上流から下流まで**連続的に洪水の危険度を表示**することが可能となります。
- 自分がいる付近の川の危険度が明確となるので、**迫り来る洪水の危険を自分の事こととして認識し、避難行動をとるきっかけ**となることが期待されます。

二次元コード



水位観測所の水位で代表して、一連区間の危険度を表示



「川の防災情報」の表示例

左右岸別、上下流連続的に地先ごとの危険度を表示



※計算値により危険度を評価していることから、「水害リスクライン」が示す河川の様子は、実際の状況と異なる場合があります。

ハザードマップポータルサイト

- 身の回りで**どんな災害が起こりうるのか**、調べることができます。
- 様々な防災に役立つ情報を地理院地図に重ねて閲覧できる「重ねるハザードマップ」と、市町村が作成するハザードマップへのリンク集である「わがまちハザードマップ」があります。

ハザードマップポータルサイト
～身のまわりの災害リスクを調べる～

使い方 利用規約 問い合わせ 関連情報

～ハザードマップポータルサイトをご覧の皆さまへ～
サイトにつながりにくい場合はしばらく時間を置いてから再度アクセスしていただけますよう、お願いいたします。

重ねるハザードマップ

～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

地図を見る

場所を入力

例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

表示する情報を選ぶ

- 洪水(想定最大規模)
洪水(計画規模)はこちら
- 土砂災害
- 津波
- 道路防災情報

※掲載データに関する留意事項

わがまちハザードマップ

～地域のハザードマップを入手する～

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

地図で選ぶ

まちを選ぶ

都道府県 市区町村

パソコン、スマートフォン：
<https://disaportal.gsi.go.jp/>



『YouTube』を活用した河川カメラ映像のライブ配信

- リアルタイムのある防災情報の発信として、YouTubeを活用して河川カメラ映像をライブ配信しています。(試行)
- 令和元年7月31日から高梁川、太田川を対象に配信しており、今後対象河川を拡大していく予定です。
- 映像はスマートフォン等から、YouTubeの「国土交通省中国地方整備局」チャンネルにて確認いただけます。



国土交通省中国地方整備局 youtube

検索

